

■自分■ 《他人と比較することではなく、自分らしく自分のやりたいことをやるかどうかです》

何かと他人のことが気になってしまうのは、自分がぶれている証拠です。自分自身を知ることは余りありませんが、自己を知っていることは大切なことです。何も考えない自分の時間を持つことは、自己を振り返る良いきっかけになります。自分の部屋で深呼吸を繰り返して見て、自分の時間を持ちたいものです

■努力■ 《小さなこと、気づかないこと、さりげないことの積み重ねの努力は、大きな差になります》

この些細なことの積み重ねは毎日やることで、とてつもない力になってきます。習慣そして継続することは、その人を大きく育てる原動力になっていきます

■敵■ 《敵はほとんど内部の人たち、そして自分の心のなかに潜んでいるものです》

外部に敵がいると思いがちですが、多くの企業を訪問していると色々と気づくことがあります。ほとんど内部闘争や内部紛争が障害になっています。そしてその多くは、自己中心の考えがほとんどです

■学び■ 《どんな時でも、どんなことでも、どんな相手でも学べます。出会いに感謝しましょう》

良いことばかりが学びではありません。悪いことも反面教師と捉えれば、良い勉強になります。それも人と人の出会いがそれぞれの勉強の機会になっていたことをいまさら思います。出会いは大切な勉強の場です。一人ひとりの出会いに何かがあります。感謝の心で接すると貴重な体験を得ることが多いようです

■成功■ 《自分のことだけ考えるのではなく、相手のことを考えることで成功は手に入るものです》

人間社会には、この原理が見えないところで回っているようです。ギブ&ギブです。ギブ&テイクでは、他人は満足しないようです。ギブ&ギブでちょうど良いのです。出し惜しみしないで出し切ってみましょう。期待をしないでいると、自然に成功は手中にはいつているものです

■ワクワク■ 《ワクワクすると上手く事がなぜか運び始めます。楽しむことが大切です》

自分のワクワクした顔をみたことがありますか？自分では見る機会は滅多にありませんが、相手を鏡にすると見えてきます。ワクワクはいい顔になっているはずですから相手も笑顔で返してくるので、事が上手く運ぶようになってきます。共感を得るには、お互いが存分に楽しむことです

■環境変化■ 《環境変化を自分の価値を高めるチャンスに変えていきましょう》

変化があることで、今までの溜まっていたホコリを振り落とし、新たな服に着替えて新しい顧客に向かっていきましょう。自分の価値を上げるには、自己成長していく意識を持つことです。変化を糧にしましょう

■磨く■ 《心を磨くことはもちろんですが、まず相手からみられる顔を磨きましょう》

化粧というわけではありません。白い歯を出してニッコリと満面の笑顔で、相手を包み込みましょう。外見は相手に9割以上の印象を左右するようです。まずは外見から、そして内面も笑顔と感謝で覆いましょう

■ピンチ■ 《ピンチの時にこそ、あなたの秘めた潜在能力が目覚めるチャンスです》

ピンチやチャンスは、どんな顔をしているかわかりません。ピンチのような顔をして来ても、受け取る気持ちが前向きであれば、チャンスにも換えることができます。人がやらなかったニッチもチャンスが潜んでいたのです。それを発掘した人がチャンスにしたのです。どこにでもチャンス顔はありそうですね

■供給不足■ 《自分をわかって欲しいという人より、わかってあげられる人は断然少ないのです》

相手をわかってくれるという人は本当に少ない貴重な存在です。魅力的な人よりも自分のことをわかってくれて安心できる人の方が大切な人でしょう。わかってあげられる人になれば、わかって欲しい人たちが集まってくるでしょう。まだまだ自己中心の自分を少しでも変えていきたいものです

■強み■ 《自分の弱点はよく気づきますが、これからは強みをハッキリして活かしていく時代です》

さらに自分の特性を生かしたノウハウをつくり、自分だけしか出来ないモノを創り出しましょう